

# 要 望 書

島 根 県

米軍機騒音等対策協議会

(浜田市・益田市・江津市・川本町・邑南町)

## 島根県における米軍機による飛行訓練の中止等の要請

島根県では、県西部を中心に米軍機の飛行訓練が続いており、令和6年は、平成25年の測定開始以来最も多い、2,090件の飛行騒音が測定されました。令和4年の2,076件、令和5年の1,851件に続き、これまでにない高止まりの状況になっています。また、依然として夜間の騒音が確認されています。

飛行訓練中は、米軍機の爆音で、多くの住民が耳をふさぎ、怖いと震え、怯えています。機体をはっきりと目視できるほどの低空飛行も、住民に強い不安を与えています。

特に、小・中学校や保育施設をはじめ、介護施設や医療施設などの上空を飛行し、乳幼児、児童・生徒、高齢者、病气療養中の方々からは、突然聞こえてくる轟音により、極度のストレスや不安を訴える声が後を絶たず、中には最低安全高度が守られているのか疑わしい低空飛行も確認されています。

こうした一部地域の住民に負担が生じている現状を十分認識し、住民の不安解消と安全確保を図るため、速やかに次の措置を講じていただきますよう強く要請いたします。

## 1. 関係機関への中止の要請等

住民の平穏な生活を乱すような米軍機による飛行訓練が行われないよう、また事故・事件等が再発しないよう、米軍関係当局に対し、さらに強力な対応を行うこと。

特に、これまでの要請にも関わらず飛行訓練が行われており、住民が不信、不安を感じているので、以下について要請すること。

- (1) 住民生活への影響を最小限とするため、飛行訓練にあたっては飛行高度を厳守し、極端な低空飛行を中止すること。
- (2) 配慮を要請している行事・式典の日に飛行訓練を行わないこと。
- (3) 休日・夜間の飛行訓練を行わないこと。

## 2. 国による実態把握と実態の伝達等

- (1) 住民からの苦情が多い地域について、騒音測定装置を増設する等により実態を把握するとともに、その結果を速やかに提供すること。
- (2) 飛行訓練の実態について、国の責任において、米国側に正確に認識されるよう、住民からの苦情件数や内容、騒音のデータ等を具体的に伝えるとともに、これに対する米国側の対応等について、政府の認識も含め、地元の住民や自治体、県に対し説明すること。

令和7年6月6日

島根県

島根県知事 丸山達也

米軍機騒音等対策協議会

会長 島根県浜田市市長 久保田章市

副会長 島根県邑南町長 大屋光宏

委員 島根県益田市市長 山本浩章

委員 島根県江津市長 中村中

委員 島根県川本町長 野坂一弥